

インターンシップ

岩国工業高等学校／都市工学科

都市工学科2年 酒井憲明

思った以上に大変でした。学校では平地でトランシットをやりますが、現場では平地じゃなく斜面や足場が悪い所での測量が多くなります。測量では正確が必要となります。間違いを少なくするのが大切だと教わりました。

現場での休憩中におまんじゅうを頂きました。その時のおいしさはいつも以上に格別なものがありません。この現場実習を通して、土木の大変さは非常によくわかりました。でも、一番感じたのは一つの物をつくった時には、それまでのつらさやエラさが満足感に変わると言う事です。今日一日での体験で土木のスパラシさが少し感じました。



都市工学科2年 岡崎友香



この実習で私はいろいろな事を学びました。例えば建築会社の仕事内容、家が建つまでの工事の流れ、プレカット方法や図面についてです。だけど、この実習で一番心に残ったのは建築の魅力です。家の建築はお客さんの細かい意見に沿えるようにして、そのお客さんに対するの最高の家を造ります。もちろんお客さんの喜びの笑顔も見れるし、その家は一生のものとして残ります。しかも工場などで同じ仕事を毎日毎日続けるのではなく、いろんな場所に行つて、いろんな人と接しられて、いろんな物が造れるという素晴らしい事を教えていただけました。この経験は私の将来につながるとても心に残るものとなりました。

田布施農業高等学校／環境土木科

環境土木科2年 河島由季

1日目は、現場内の建設機械の名称、作業現場の説明を受けました。私は機械を動かしている方の高度な技術に感動しました。そして、現場における危険性についての説明を受け、危険なポイントも教わりました。

2日目は、現場に着工してから今日に至るまでの写真を見ながら細かく説明していただきました。また、構内に搬入する土の搬出先の見学では、山が丸々1つなくなっている状況を見て、建設機械の作業能力に驚きました。

3日目は、25トンラフタークレーンの基本性能の説明の後、作業見学をしました。測量実習では光波距離計を用いて測量側と手元側に分かれ、角度や測距の方法を覚えていただきました。思った以上に難しかったです。

最終日4日目は、コンクリートのハツリ工事の見学に連れて行っていただきました。カッターについて色々教えていただきました。私は硬いものを切る専門家がいることを初めて知りました。

このインターンシップは、私にとって貴重で大切な経験になりました。勉強だけではなく人との接し方や朝の挨拶など、たくさんのことに活かしていきたいと思えます。



環境土木科2年 服部卓也

まず、1日目は大内県営住宅で、レベル測量をやり、2人で4回やってやっと正確に測れました。昼からはトラス測量を行い、多角測量は初体験だったのでとても勉強になりました。

2日目は、鹿野浄化センター建設工事場に行き、午前は見学と補助。午後からは初めてオートレベルの測量をし、足場を組んだ

高く狭いところで作業をするので怖かったです。しかし、学校ではできない体験でした。

3日目は、国道376号バイパス工事第3工区でトランシットの据え付けを行いました。段差のある雑草だらけのところに据え付けたのでとても難しく実践的でした。自分は読む時に、毎回1mmと2mmの誤差が出るそうなので気をつけて取り組みました。

4日目は、初日と同じ大内県営住宅新築に行き、レベルで測量をしました。レベル測量は何回もしていたのでなかなか早くできたと思いましたが、計算間違いをしてもう1往復しました。そのおかげで早く正確にできるようになったと思います。

現場での作業は、学校での作業と違い、厳しい状況の中、素早く正確に行なわなくてはならないということが体験でき、大変勉強になりました。



は・ん・せ・つ
WOMAN



その日すべきことを
一生懸命頑張る

高藤 愛子さん

AIKO TAKAFUJI ●大栄建設株式会社(宇部市) 建設本土木建設課長補佐
●宇部市出身 山口大学 工学部 社会建設工学科卒業

現場監督28年のベテランの高藤愛子さん。
女性が少なかった建設業界での先駆者的存在です。

普通高校を卒業後、測量会社にOLとして就職し、図面の作成に携わりました。その仕事の中で物作りの面白さを知り、「地図に残るような道を作りたい」と思ったのがこの業界に入ったきっかけです。会社を辞め、専門の短期大学に入学。卒業後、現在の会社に入社しました。入社してからも、もっと建設について勉強がしたいと思い、仕事をしながら山口大学の夜間に通いました。

入社して初めの頃は、設計の仕事をしていました。しかし、毎回何が起るかわからない、現場の仕事の新鮮味と面白さに魅力を感じ、すぐに現場を希望しました。当時、会社はもちろん、県内でも女性の現場監督はほとんどいませんでしたが、会社の社風なのか、女性だからといって現場になじめなかったということもありませんでした。実際女性が少ない業界ですが、仕事が好き、楽しいと思えば、男女の違いなんてほとんど関係ないと思いますよ。

現在の主な仕事は、施工管理や進行具合の調節、工事の段取りなど、現場監督として工事全体の流れを管理することです。最近では、規定の改正などにより提出書類が増えたので、現場の仕事だけではなく事務所で書類作りも多くなりました。でも、やはり現場での仕事が面白いですね。自分が作っているものが日々少しずつ出来上がっていく様子は、やっているとやりがいを感じます。かつて一緒に現場で働いた仲間と話するときも、作業で大変だった話や、失敗談、完成を喜び合ったこと、そんな思い出話に花が咲きます。これからも、「その日すべきことを一生懸命に」をモットーにして、一つ一つの仕事を頑張っていこうと思っています。



「高藤さんはとてもまじめで仕事熱心な女性」と同僚の本村さん。「男性が多い仕事の中でもやってこれたのは、彼女の性格と人柄もあると思いますよ。」と語って下さいました。

山口農業高等学校/環境科学科

環境科学科2年 古川俊

1日目と2日目は、嘉川の山口宇部線二工区の現場でした。トランシットを扱いましたが、できない私に現場の方は親切に御指導ください、学校での測量実習をもっと真剣に受けなければと痛感しました。現場ではバックホウを使った作業もあり、将来、私も大型建設機械の免許を取って現場で作業してみたいと強く思いました。

3日目から鑄鉄司の道路改良工事に現場に行き、その現場には市役所や地域の方が来られ、工事への要望に関する話し合いがあり、地域の方からの要望は大変多く、多岐にわたっていました。それらの意見をできる限り取り入れ、工事を進めていくそうです。

実習最終日には、測量がだいぶスムーズにできるようになっていました。自分が測量した値で丁張りを設置することもでき、やりがいのある楽しい実習でした。

環境科学科2年 山本悠介

現場は新たに建設中の県道山口宇部線で、実習

2日目に県土木事務所の間
検査ということで、

初日は書類作成などの準備を
見学しながら、関連事項につ
いて教えていただきました。

2日目の午前中は、トラン
シットで測量。午後からは宮
野のシマダ株式会社生コン事
業部で、コンクリートの練り
込みを見学。また特別に、コンクリートの圧縮試
験も見せていただきました。

3日目には午前中に産業廃棄物の処理場見学、
午後はオートレベルを用いた測量、そして最終日
には企業対象暴力追放の集会を見学したのちにト
ランシットの測量をし、さらに隣の建設現場の見
学もしました。

今回の実習では、安全や品質管理などに多くの
手間と時間を費やしておられることなど、なかな
か外からでは分かりにくい事項についても知るこ
とができました。



2005年度インターンシップ実施企業

- (株) 琴龍建設(株)
- (株) 勝井建設(株)
- (株) 八木興業(株)
- (株) ミヤハ
- (株) 長畑建設工業(株)
- (株) 森野組
- (株) 日野組
- (株) 鑄野建設(株)
- (株) 村中工務店
- (株) ガンシン
- (株) 林土木
- (株) 中国建設(株)
- (株) 山本組
- (株) 藤川興業所
- (株) 石川組
- (株) 周東建設(株)
- (株) 高山コンサルタント
- (株) 岩国測量設計
- (株) 東亜測地
- (株) 錦測量事務所
- (株) 井森工業(株)
- (株) イワキ
- (株) 大池組
- (株) 末延建設(株)
- (株) 藤永建設(株)
- (株) 好村建設(株)
- イワキ測量設計(株)
- (株) 巽設計コンサルタント
- (株) 岩国測量設計
- (株) 江村建設(株)
- (株) 共同産業(株)
- (株) 簡井建設(株)
- (株) 時盛建設(株)
- (株) 洋林建設(株)
- (株) 石山建設(株)
- (株) 技工団
- (株) 山陽建設工業(株)
- シマダ(株)
- (株) 山下工業(株)
- (株) 西建
- (株) 林建設
- (株) 藤井組
- (株) 防長建設工業(株)
- (株) 宗像建設
- (株) 山口建設(株)
- (株) アサヒコンサル
- (株) 三建調査設計
- (株) 山口建設コンサルタント
- (株) 澤田建設(株)
- (株) 藤本工業(株)
- (株) 梅崎組